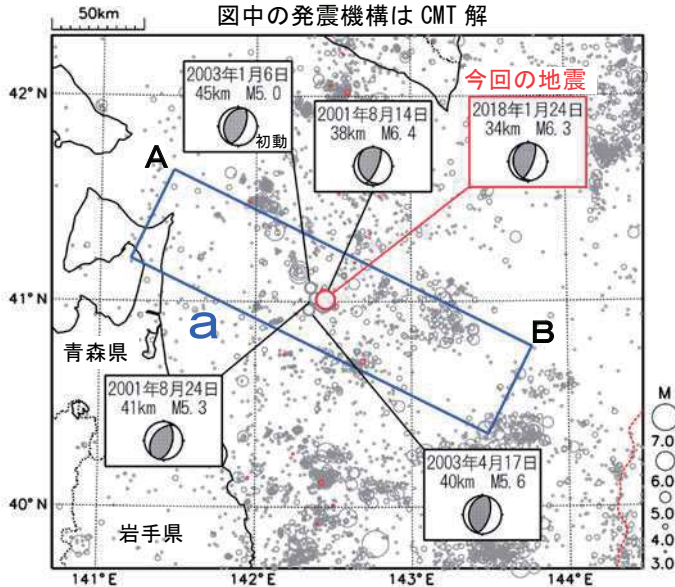


1月24日 青森県東方沖の地震

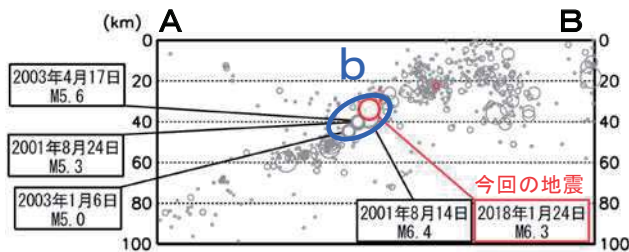
震央分布図
(1997年10月1日～2018年1月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

2018年1月に発生した地震を○で表示

図中の発震機構はCMT解

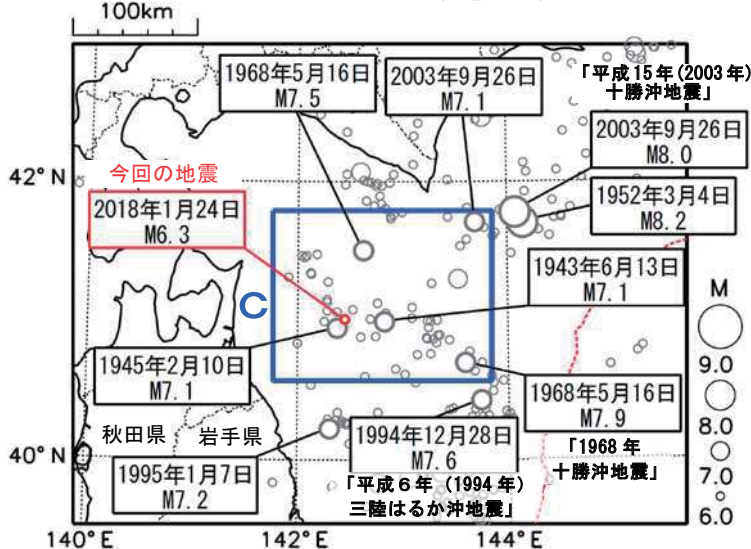


領域a内の断面図(A-B投影)



震央分布図
(1923年1月1日～2018年1月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

2018年1月に発生した地震を○で表示

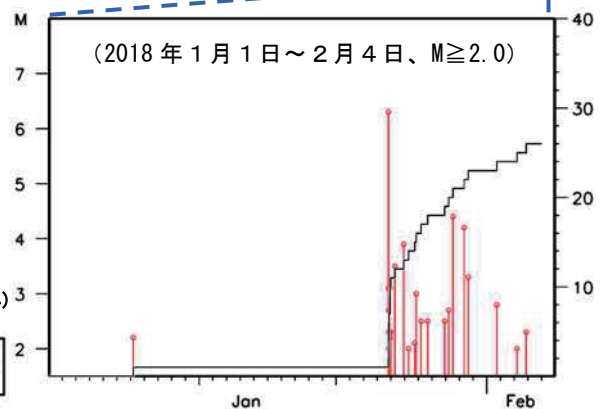
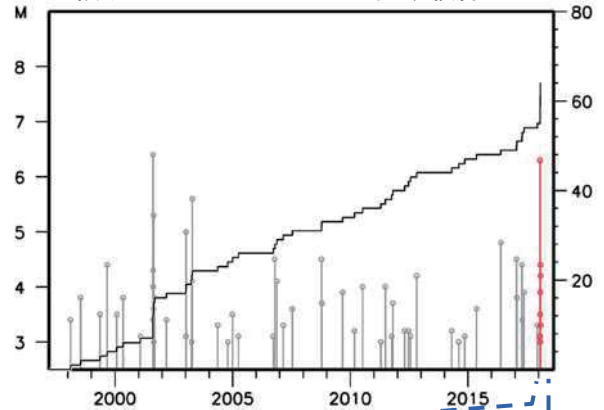


2018年1月24日19時51分に青森県東方沖の深さ34kmでM6.3の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震が今回の地震を含め5回発生しており、M6.0を超える地震は2001年8月14日以来である。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、「1968年十勝沖地震」(M7.9、最大震度5)により、死者52人、負傷者330人、住家全壊673棟等の被害が生じる(被害は「日本被害地震総覧」による)など、M7.0以上の地震が6回発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

